



新年あけましておめでとうございます。
 本年も変わらぬご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。



ねごしの寺子屋を開催しました。

12月25日（金）、28日（月）、29（火）の3日間、「ねごしの寺子屋」を開催しました。

上越市板倉区にある常設型地域の茶の間「ねごしの里」では、日本の素晴らしい文化ともいえる「寺子屋」にならい、2011年の夏より毎年3回「ねごしの寺子屋」を開催しています。小学生の長期休暇にあたる3月・8月・12月中の3日間～5日間に上越教育大学の学生が中心となり、小学校の子どもたちが地域の方々と交流しながら、学習や遊び、自然体験を楽しむ中で板倉を愛し、生き生きと過ごすことができるような機会を創るべく活動を行っています。

今回の寺子屋では上越教育大学から学生10名、修了生が3名、中学生ボランティアが8名参加しました。

申込み児童数は23名となり、活気のある寺子屋となりました。

活動内容は、1日のうちの午前もしくは午後学習の時間を設け、その他の時間は「新聞をつかった表現あそび」「折り紙で正月飾りを作ろう」といった遊びから「人生の師匠と遊ぼう」と題した世代間交流、そして大廣寺での座禅、と盛りだくさんの3日間です。最終日に書く絵日記に参加児童は「ともだちができてたのしかった。」「おばあちゃんたちが輪投げが上手でおどろいた。」「来年も寺子屋に来たいです。」「との声が、また、ボランティアの中学生は「地域の子どもたちと交流して遊ぶことが中学生になってグンと減ったので、良い経験になった。」「今回のねごしの寺子屋の参加で最後になるかもしれないので、できるだけ小学生と関わることを心がけました。」「といった意見が聞かれ、それぞれにとって充実した機会となったようです。



サッカークリニックを開催します。

毎年恒例のサッカークリニックを今年も開催いたします。

2月と3月の日曜日2日間を予定しており、対象は小学4年生以下で、いずれもサッカーチームを通して申込みが行われます。

サッカークリニックは、地域貢献事業として振興協力会から支援を行っているもので、今回の開催で7年目となります。

毎年地域の子どもたちへアルビレックス新潟の育成スタッフの方によるサッカーの実技講習を実施しており、大学の近隣で日頃から子どものサッカー活動を行っている団体と協力し、サッカーを通じて子どもたちの心身の発達を支援することが目的です。

また、大学生が運営支援のスタッフとして積極的に参加できるようにし、地域と学生との接点となる活動を目差すと同時に、学生のスポーツ指導力の向上を図っています。

おかげさまで毎年ご好評いただいております、2日間で70～100名もの子どもたちが集まります。



以前の開講時の様子

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地

上越教育大学振興協力会事務局（上越教育大学広報課内）

電話：025-521-3626 FAX：025-521-3627 E-mail：kakehasi@juen.ac.jp



上越|妙高|柏崎|十日町|佐渡
 北陸新幹線開業 連携5市プロジェクト